

# 大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)

(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

## 記

1. 講 師 杏林大学医学部  
教授 大木 紫 先生
2. 演 題 ヒトの運動性脊髄介在ニューロンに生じる  
可塑的变化
3. 日 時 平成27年11月20日(金)17:30～19:30
4. 場 所 大学院講義室 4 (M&D タワー 9階)

## 5. 要 旨

脊髄障害では、大脳皮質からの下行路である錐体路の損傷・変性により、手指の巧緻運動などに顕著な制限を来す。しかし動物実験の結果では、錐体路が伝導障害を起こしても、上部頸髄介在ニューロンなどを介した運動機能回復が可能であることが報告されている。神経経路の伝達効率を変化させる電気生理学的手法を用い、脊髄介在ニューロンを介した経路を強化するリハビリテーション法の開発を紹介する。

連絡先： 泰羅 雅登（認知神経生物学分野 内線 5445）